

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 2 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	グループホームにとっての重点課題である地域とのつながりという部分が、まだまだ実践に向けて取り組み不十分な状態である。	現状よりも深く地域とのつながりが持てるよう実践に向けて取り組む。	地区会へ入会し町内で行われる参加可能な行事へまずは職員からでも参加し、徐々に入居者の参加へとつなげていく。又、地区長へ運営推進委員の就任依頼を行うことで更なる地域とのつながりが持てるよう取り組む。	3ヶ月
2	6	苦情相談窓口や第三者委員窓口の設置、苦情受付カードの設置は行っているが、なかなか意見や苦情を表せることが少なく把握方法が課題である。	入居者やご家族のホームに対する苦情や意見の把握方法について対策を練り、意見等を反映させることでより良いホーム作りにつなげる。	ご家族に向けた定期的なアンケート調査の実施を行うなど、又、大きな行事である夏祭りやクリスマス会後に家族会などを開催し意見を反映することでより良いホームの運営につなげる。	6ヶ月
3	33	重度化や終末期・看取りの指針があり入居時に説明を行い同意は得ているものの、看取りに対する職員の理解が乏しく今後の課題である。	重度化や終末期・看取りの指針に沿った職員教育を目指す。	重度化や終末期・看取りについて、職員採用時に話をすると共に入社後も勉強会や研修会への参加にて職員教育を行い職員の理解を得る。	12ヶ月
4	35	年2回、消防訓練を行っているが夜間想定での実施がなく、又、自然災害についても法人でのマニュアルに留まっている状況である。	夜間火災時に向けた訓練の実施とホーム独自のマニュアルの作成。	来年度は夜間を想定した消防訓練を行い、その際、地元消防団の訓練の一環として当ホームの訓練と一緒にしてもらえよう働きかけを行う。又、防災計画についてもホーム独自のマニュアルを作成し職員の周知に努める。	12ヶ月
5	52	入居者の安全のため、三か所にセンサーを設けているが音量が高いことがあり入居者の心地良い空間づくりへの配慮に欠ける点もあるため改善が必要と思われる。	入居者にとっての心地良い空間づくりを心掛ける。	センサー音は極力小さくすることで入居者にとって心地良い空間づくりに配慮する。又、センサーに頼ることなく入居者への目配り、気遣いが出来るよう職員への指導・実践を行っていく。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。